

文教厚生委員会会議録

平成28年7月28日(木)
午前 9時30分 開 会

○鈴木好美委員長

ただいまより、文教厚生委員会を開会いたします。

協議題1、閉会中の調査事項を議題とします。本日の協議内容は、意見交換会後のまとめと今後の方向性についての1点です。

まず、先週行われた意見交換会後に、皆さまに報告書を提出していただきました。報告書を基に、一人ずつ簡単に委員会の方向性(提言)について、発言をお願いします。

○山内悟委員

【資料に基づき説明】

○小出義一委員

【資料に基づき説明】

○岩田玲子委員

【資料に基づき説明】

○渡辺昭司委員

【資料に基づき説明】

○久世孝宏委員

【資料に基づき説明】

○榊原伸行副委員長

【資料に基づき説明】

○鈴木好美委員長

【資料に基づき説明】

皆さんの意見の共通点として、1つ、貧困の子どもの実態把握、2つ、スクールソーシャルワーカーの拡充、3つ、学校・地域・家庭の連携、4つ、基本計画を立てることの4点だと思います。このことについて、いかがでしょうか。しばらく休憩します。

午前 9時45分 休 憩

午前10時40分 再 開

○鈴木好美委員長

会議を再開します。ただ今の休憩中にご協議いただいた内容として、今後、閉会中のテーマの方向性は、1つ、貧困の現状を見つけ出すこと、2つ、学校・地域・家庭の連携で、子どもに「生きる力」を身に付けてもらう、3つ、学校を軸として、スクールソーシャルワーカーのような福祉のプロを置き、連携をつくる、4つ、必要があれば基本方針・基本計画、宣言などの策定も視野に入れるといった4点を軸に取り組んでいきます。この4つの課題に対して、他市の先進事例に合致したところがあれば、視察先の候補にしたいと思います。よろしいでしょうか。

○久世孝宏委員

課題と方法が混乱しているので、一度、文章で記してほしいです。休憩中の内容と異なる点がありましたので、確認させてください。私の解釈では、1つ、隠れた貧困の子どもをいかに見つけ出すか。経済的な理由だけでなく、社会とのつながりがない子どもや「生きる力」

のない子どもを対象とすべきであること。2つ、その見つけた子どもに「生きる力」を身に付けてもらうにはどうしたらよいか。3つ、学校を中心として取り組むことの効果とそのための方策は何か。4つ、この問題について進めるための方策として、行政への働きかけをすることの4点だと思えます。また、その4点の仮説として、1と2は、地域・学校・行政・家庭との連携が必要ではないか。3は、他機関との連携の軸となれるよう、学校に福祉部門（人）を置くべきではないか。例えば、スクールソーシャルワーカーのような人など。4は、基本方針や基本計画、宣言などの策定も視野に入れていくといったものになると思えます。これを参考にして文章にまとめていただけるとありがたいと思えます。追加・訂正の意見があればお願いします。

○鈴木好美委員長

他の委員は、いかがでしょうか。

【「なし」との声あり】

ありがとうございます。今の4点をメールで送付します。これを受けて、先進事例等の視察先を考えていきたいと思えます。正副委員長と当局一任でよろしいでしょうか。

【「なし」との声あり】

○久世孝宏委員

一任で構いませんが、何が特徴的で、どんな工夫をしているか等、行く前にわかるようにしてください。

○鈴木好美委員長

本日協議した4点の方向性を基に、視察先の資料等もご用意させていただきます。

次に、協議題2、その他を議題とします。今後の日程を確認したいと思えます。しばらく休憩します。

午前10時48分 休憩
午前10時51分 再開

○鈴木好美委員長

会議を再開します。他に何かありましたらお願いします。

○小出義一委員

会議中不適切なことがありましたので、お詫びしたいと思えます。

○鈴木好美委員長

以後気を付けていただきたいと思います。

【発言する者あり】

しばらく休憩します。

午前10時52分 休憩
午前10時59分 再開

○鈴木好美委員長

再開します。部長から視察先の候補についての説明がありましたので、委員も参考になる自治体があれば、教えていただきたいと思います。他に何かありましたらお願いします。

【「なし」との声あり】

ないようですので、これをもちまして委員会を閉会いたします。

午前11時00分 閉会